

令和4年度 深谷市地域公共交通会議（埼玉県深谷市） （地域内フィーダー系統確保維持事業）

地域の公共交通等の現況・課題

本市では、広域的な移動手段であるJR高崎線と秩父鉄道の2つの鉄道で計7駅が整備されており、この鉄道と結節する地域間移動の足として、市内に民間路線バスが4路線運行されている。コミュニティバス「くるリン」は、これらを補完する役割として平成12年度から本格運行しており、平成31年3月には「深谷市地域公共交通網形成計画」を策定し、「市民活動と移動を支える持続可能な公共交通ネットワークの形成」を基本方針として定め、その基本方針に基づき令和2年度より定時定路線、令和4年度よりデマンドバスの現運行を開始している。



交通計画の基本的な方針／定性的な目標

今後、さらに進行する人口減少・高齢社会に対応し、高齢者や運転免許を持たない交通弱者の移動手段を確保するため、鉄道及び民間バス路線を維持確保しつつ、これらを補完するコミュニティバスにより交通空白地帯の解消を図り、市民にとって質の高い生活を維持するためにも、都市拠点、地域拠点、交流・連携拠点等を中心に結ぶとともに、市外への移動も視野に入れて、広域的な結びつきを強化する公共交通のネットワークの形成をめざす。

【目標】

- i) 利用者数の増加 68,875人
- ii) 利用者満足度の上昇 前年度調査以上の満足度
- iii) 収支率の向上 15.5%

面積	138.37 km ²
人口（R4.4.1時点）	142,003 人
15歳未満	16,487 人
65歳以上	42,402 人
高齢化率	29.8 %

目標を達成するために行う事業の今年度実施状況

既存の鉄道路線及び民間路線バスを市内又は市外の地域を結ぶ地域間交通ネットワークとして位置づけ、深谷市全体を広く網羅する交通手段として運行する。更に、民間路線バスを補完し交通空白地帯を解消するため、JR高崎線の深谷駅を中心に定時定路線を4路線運行（内1路線が補助対象）するとともに、市内全域を運行エリアとするデマンドバス（令和4年4月より再編運行を実施）を運行している。

交通計画の計画期間

令和(平成)1(31)年4月～
令和6年3月

アピールポイント

【定時定路線】

- ・定時定路線は深谷駅で相互に乗継ができるようダイヤを編成している。
- ・買い物・通院に利用しやすい運行ルートにするため、市民が日常的に利用する主要な商業施設・医療機関を通る運行ルートにしている。

【デマンドバス】

- ・令和3年8月に策定した『深谷市コミュニティバス「くるリン」デマンドバス再編計画』に基づき、バスの乗り継ぎ減少、乗入れ可能なバス停の追加など、利便性の向上を図っている。

協議会開催状況

(令和4事業年度に係るもの)

- ・第1回(5月11日)
令和3年度決算及び
令和4年度歳入歳出予算について
- ・第2回(6月14日)
地域公共交通確保維持改善計画について

○参考資料として以下の資料を添付

- ・地域の公共交通体系図(鉄道、民間路線バス、コミバス 等)
- ・補助対象事業の運行系統図・区域図
- ・補助対象事業の実績データ(利用者数、収支 等)
- ・その他参考となる資料(利用促進の取組 等)